

会議録

会議の名称	男女平等参画推進委員会 平成22年度 第3回
開催日時	平成22年11月10日（水曜日） 午後7時から9時まで
開催場所	田無庁舎1階102会議室
出席者	出席：白松委員、藤原委員、渡辺委員、大野委員、高橋委員、蓮見委員、小野委員、石田委員、今井委員、富永委員 （欠席：名古屋委員） 事務局：浜名課長、藤巻係長
議題	1 第2回男女平等参画推進委員会会議録の承認について 2 男女平等推進センター パリテの事業報告について 3 平成21年度男女平等参画推進計画各課実績評価について 4 その他
会議資料の名称	1 第2回西東京市男女平等参画推進委員会会議録（案） 2 男女平等推進センター パリテ事業報告
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>（開会）</p> <p>○委員長： 定刻になったので第3回男女平等参画推進委員会を開催する。</p> <p>1 第2回男女平等参画推進委員会会議録の承認について</p> <p>○委員長： 第2回男女平等参画推進委員会会議録について訂正等何かあるか。</p> <p>○各委員： なし。</p> <p>○委員長： それでは、第2回男女平等参画推進委員会会議録について承認とする。</p> <p>2 男女平等推進センター パリテの事業報告について</p> <p>○事務局： 事業報告をする。既に開催したもの、これから開催するもののパンフレットを資料とした。既に終了した1・2のアンケート集計を参照願う。</p> <p>○委員長：</p>	

何か質問、感想等あるか。

○委員：

「応援します！お母さんのための就職活動」について、4回連続講座だが、参加者は全員子育て中の方々か。

○事務局：

全員子育て中である。

○委員：

再就職支援は毎年6名程か、その中に企画運営委員の8名も参加しているのか。

○事務局：

再就職支援は今年初めて企画した。企画運営委員は参加していない。

○委員：

会場も全てパリテ内で開催しているのか。会場を交通の便利なところで行うことは可能か。

○委員：

はなバスを利用すればよいのではないか。

○事務局：

男女平等推進センター パリテが開館し、その周知のため行ってきた。出前講座をしたいとの意見も出ている。検討する。

○委員長：

昨年、パリテ利用者懇談会等で男女平等参画推進委員会の方にも事業に参加して欲しいという意見が出された。都合のつく方は参加し評価に反映していただきたい。

3 平成21年度男女平等参画推進計画各課実績評価について

○委員長：

平成21年度男女平等参画推進計画各課実績評価について、各領域で作業部会を行う。前回欠席された、藤原委員にグループの希望を伺う。

○副委員長：

“学び”を希望する。

○委員長：

では“学び”は委員、委員、委員の3人となる。

○委員：

質問がある。10ページの子育て支援の充実について、同じ回答がある。その都度、評

価する必要があるか。

○事務局：

補足説明する施策の内容区分により重複する。同じ事業でも施策の内容により、評価が違ってくる。

○委員：

重複するところをまとめて評価するのはいかがか。

○副委員長：

例えば、同じ回答に対して、評価については子育て支援の継続はこのままでも、拡充についてはプラスして推進して欲しいという違う評価になる。

○委員：

今年は施策目的の違いにより、評価の仕方が変わると理解し、前年評価を参考に評価した。ただそれが3年繰り返して続くようであれば、今年はBであったが、来年はCにする必要があると部会で話し合った。また、それは施策の括り自体を整理する必要があるのかもしれない。例えば、縦割りではなく、各課共同して行ったり、また重複する部分は別の事業を発展してもらおうなど、意見を提案するのが、この委員会の評価の役割と理解したがいかがか。

○委員長：

委員の意見のとおり、評価しながら、提案する場でもある。

○委員：

どれだけの費用、労力（人件費）を使い、どれだけの効果（参加者）を得たかも評価につながる。この文面だけでは評価しづらい。

○事務局：

費用対効果についてご意見のとおりである。また施策の推進として、単純に数字だけではいけない。現在、全事業が数値的に出せるとも限らない。

○副委員長：

費用対効果は必要だが、項目が必要か否かを仕分けするのではなく、男女平等参画の推進がより良く実施されているかを評価するのが現在の委員会の役目と理解する。

○委員：

仕分けする場でないとしても、評価の基準をどこに置くのか。

○委員：

委員の意見のとおり、行政が行う事業に於いて、費用対効果は必ず問われる。現時点では各課に再度依頼するのは無理ではないか。具体的に数値的に出せる項目については総評で具体的数値を出すよう評価するのはいかがか。

○委員長：

市民・職員等の意識啓発を目的とする計画として、市民参加の多少によってその目的が達成できたか否か、数値的に評価しづらい部分がある。着実にすすめるためには、毎年継続的に行うことも重要。

○副委員長：

委員会として、次回第3次計画を作る段階で指標を出していただくことを提案する。全ての項目に対して数値化をするのは難しいが、その指標の中で重点的にこの部分の数値を上げたいという指標があれば委員会としても計画と合致しているか、照らし合わせることができる。また仕分けはして良い。この事業は既に済んでいるとか、この事業は課ごとではなく、まとめて実施していただきたいなど、そういう仕分けは翌年に向けて行ってよいのではないか。

○委員長：

それでは、毎年評価の各領域（グループ）の総評価（まとめ）の箇所で、仕分けなど来年度に向けての評価、答申をする。今年は男女平等参画の推進がより良く実施されているかを助言・提案を補足しつつ評価することにする。

○各委員：

意義なし。

○委員長：

では、各領域で評価の調整、および事務局にヒヤリングの日程調整、資料の提出など要望をまとめていただく。また各領域の代表の決定願う。

○各部会：

（調整）

○事務局：

決定した各領域の代表を読み上げる。“学び”委員、“家庭生活”委員、“働く場”委員、“まちづくり”委員、“人権・計画”委員。

○委員長：

各領域ヒヤリングの日程調整等あるか。

○委員：

“家庭生活”で質問事項1、8ページの公民館の講座2項目の参加人数。2、11ページの子ども家庭支援センターサポート会員の活動内容。3、11ページ下から3つ目の公民館の講座参加人数。4、14ページの生活福祉課の福祉サービス提供する事業所は全体で幾つあるのか。5、高齢者支援課の相談業務の年間件数を教えてほしい。

○委員：

“働く場”の質問事項1、15ページの産業振興課と生活文化課の保育付女性の就労準備講座の実施の各定員数と参加人数、およびアンケートの結果について。2、16・17ページの産業振興課と生活文化課ポジティブアクションの推進でパンフレット、チラシの内容など教えてほしい。

○委員：

“まちづくり”の質問事項1、21ページから25ページ審議会・委員会等への女性の積極的登用について、登用率の伸びがわかるよう前年の対象となる資料が欲しい。2、26ページの男女平等に関する市内の人材リストの整備の未実施の理由を教えてほしい。

○委員：

“学び”の質問事項1、2ページ公民館の男女平等に関する学習機会に関する提供の10講座の参加人数。2、2ページ子ども家庭支援センターの広場へ父親が来所するきっかけの具体的内容。3、4ページ生活文化課の市民の求めに応じた情報提供の件数を教えてほしい。

○委員長：

“人権・計画”について、1、女性相談についてヒヤリングを行いたい。

○事務局：

早急に各課と連絡調整し、各領域の代表に報告する。

○委員長：

他に疑問、提案等何かあるか。

○委員：

28・29ページの道路公園公衆トイレの整備、街路灯の整備が男女平等推進に関係するののか。

○事務局：

この主な取り組みの大きな括りとして、「地域活動への男女平等参画促進」があり、そのなかで地域活動への参加・参画を阻害するような要因を取り除き市民の地域活動への積極的な参加促進を掲げている。取り分け女性に対する暴力、性犯罪等の視点から施策（活動しやすい環境の整備）として取り上げていると考える。

○委員長：

子ども、女性、高齢者には、暴力、レイプ、ひったくりなど不安な事故が起きている。女性の不安材料を拭うためにも、明るいまちづくりは必要。他に何かあるか。

○委員：

評価について内容をその紙面から読み取り評価したい。

○委員：

今後の進行について、もう1度グループ討議が必要ではないか。それからじっくり全体を確認する時間が必要。

○委員長：

では事務局から各領域の質問事項の回答を得た後、今日の意見を反映させたものを持ち寄り、次回委員会（12月）で各領域による検討を再度行う。その後の予定としては、1月と2月の委員会で全体を確認し、3月または4月に平成21年度の実績評価報告ができるように進める。

4 その他

○委員長：

次回委員会 平成22年12月8日田無庁舎1階102会議室
以上、閉会とする。